

不動産業界の転換期に備える ～資産価値の下がりにくい家とは～

不動産業界は今、転換期を迎えています。ウッドショックや円安などの要因から建築資材の価格が高騰、そして人口減少や高齢化による空き家増加やマンションの老朽化が社会問題になっています。このような転換期においては、購入可能かどうかだけで判断するのではなく、購入後の不動産の資産価値についても検討することが大切です。今回は、景気や法令改正などの様々な観点から、不動産の資産価値について学びます。住宅購入や不動産投資の相談を受けるFPに必見の内容となっています。

開催日時：2024年5月11日（土）13:00～16:30

第一部 「住宅市場の今と未来～これからの住みたい街と知っておくべき省エネ知識～」

株式会社リクルートSUUMO編集長 池本 洋一 氏

住宅価格は地価、建設コストともに高騰を続けています。この高騰は今がピークなのかこの先も続くのか？価格や在庫状況の今からこの先の見通しを考えます。さらにカーボンニュートラルの波が住宅業界にも押し寄せ、2025年に省エネ適合義務化が法制化されます。関連する補助金税制について解説します。最後にSUUMO住みたい街ランキング、住民実感調査から見る首都圏の主要な街の今と未来についても考察します。



第二部 「グレートリセット後の日本と世界～激変する金融・不動産市場の未来～」

さくら事務所 会長/らくだ不動産 顧問 長嶋 修 氏

日本と世界の政治・経済・金融市場は混沌期からダイナミックな激変期、歴史的な大転換期に突入。世界の構図が変わる「グレートリセット」はいつ、どのようにして起こるのか。その時、私たちは資産とどう向き合うべきか？登録者数6.7万人のYouTubeチャンネル「日本と世界の未来を読む」主宰の長嶋修がズバリ未来を読む。



会場：東京都千代田区大手町1-3-7
日経ビル日経ホール(右地図参照)

受講料：3,300円(税込)

認定単位：3.5単位(不動産)

※申込受付は、日本FP協会東京支部サイト、または日本FP協会Myページにて3月18日(月)から受付開始の予定です。

〈お問い合わせ〉日本FP協会 東京支部
tokyo_bb@jafp.or.jp



池本 洋一氏【プロフィール】

1995年、株式会社リクルート入社。住宅情報誌の編集、広告営業に携わった後、都心に住む編集長、住宅情報タウンズ編集長、などを経て2011年より現職。2019年よりSUUMOリサーチセンター長も兼任。住まいの専門家としてテレビ・新聞・雑誌などのメディア出演、多数の講演を行う。社会資本整備審議会住宅地分科会臨時委員、ZEHロードマップ検討委員会など国交省、経産省、内閣官房等の専門委員も多数歴任。

長嶋 修氏【プロフィール】

1999年、業界初の個人向け不動産コンサルティング会社、株式会社さくら事務所を設立、現会長。2018年にはグループ会社であるらくだ不動産株式会社の会長に就任、現顧問。2008年、NPO法人日本ホームインスペクターズ協会設立、理事長に就任。様々な活動を通して『中立な不動産コンサルタント』としての地位を確立。国土交通省・経済産業省などの委員も歴任。新著に『悩める売主を救う 不動産エージェントという選択』(幻冬舎)他、著書・メディア出演多数。



特定非営利活動法人(NPO法人)

日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 東京支部